

山梨県衛生環境研究所年報

平成 25 年 第 57 号

Annual Report of the Yamanashi Institute
for Public Health and Environment

No.57, 2013

山梨県衛生環境研究所

はじめに

山梨県衛生環境研究所は、地域における公衆衛生、環境の科学的・技術的拠点として、県民が安全・安心できる暮らしを確保するため、公衆衛生、環境に関する試験検査や調査研究を行い、感染症や食品、医薬品、飲料水、大気、水質などに関する科学的、技術的情報を県民に提供しています。

平成 25 年度においては、中国等において鳥インフルエンザ A (H7N9) の人への感染や中東呼吸器症候群 (MARS)、重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 等、新たな感染症の発生、さらに、冷凍食品への意図的農薬混入事件への対応などについて、医療機関、関係機関、保健所等と連携して対応や情報提供に努めました。

また、平成 23 年 3 月の東日本大震災・福島第一原発事故後の空間放射線量率のモニタリング調査や食品や飲料水等の放射能測定、健康影響が懸念される微小粒子状物質 (PM2.5) についても、継続的に県民に情報提供をしました。

さらに、今後発生が懸念される新型インフルエンザ等の新たな健康危機事案が発生した場合に適切に対応できるよう、想定した訓練とともに、あらためて、連絡体制や情報伝達体制の確認等を行いました。

県民生活の安全と安心を支える試験研究機関として、健康や環境に対する危機管理能力の充実強化、試験検査、調査研究、情報提供の機能強化を図る中で、県民への情報提供に努めてまいりますので、今後とも、皆様方のご理解とご支援をお願いいたします。

おわりに、平成 25 年度の調査・研究の成果を「山梨県衛生環境研究所年報第 57 号」としてとりまとめました。

どうぞ、ご高覧の上、ご意見・ご指導をいただければ幸いです。

平成 26 年 8 月

山梨県衛生環境研究所

所 長 深 澤 武 彦

目 次

組織と沿革	1
業 務 報 告	
企画情報科、総務スタッフ	2
生活科学部	7
微生物部	9
環境科学部	12
資 料	14
論文抄録及び学会発表等	31
研 究 報 告	33
水道水中硬度濃度の地域差	34
甲府盆地周辺における蚊類の生息状況調査(2012～2013)	37
ヌカカ類の捕集成績(2012～2013)	41
山梨県内の腸管出血性大腸菌O157発生状況及び IS-printing systemについて(2009年～2013年)	43
山梨県内で分離されたレジオネラ属菌の PFGE 解析結果について	48
ウエルシュ菌とノロウイルスが検出された社会福祉施設における事例について	52
山梨県におけるインフルエンザの検出状況(2013～2014)	56
山梨県内で発生したノロウイルスGII/4 2012変異株の排泄期間について	59
野外実験池における花菖蒲を用いた水質浄化の基礎実験	61
山中湖平野ワンドにおける水生植物について(2013年夏期)	67
山梨県内の微小粒子状物質(PM _{2.5})分布状況について	69